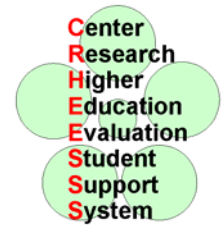


週刊センターニュース No.78



第78号(2005年9月26日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会のご案内

第89回 日時: 10月6日(木) 14:30~16:00

会場: 金沢大学角間キャンパス総合教育棟2階大会議室

テーマ: 中教審答申「我が国の高等教育の将来像」を読む

趣旨: 当センター教員4名で、今年1月に出された「高等教育の将来像」答申をどう読むかについて議論する。

大学教育開発・支援センターの各研究部門と基幹プロジェクトについてのご協力をお願い

この度、当センターでは、各研究部門およびその下の各基幹プロジェクトでの業務遂行のため、教職員の方々、および学生諸君にメンバーを委嘱させていただくことになりました。すでに今月の教育企画会議でもご報告しましたが、10月中のプロジェクト発足を予定しておりますので、皆様方のご協力のほど、よろしくお願ひします。なお、学生につきましては、内諾を得た上で、それぞれのアドバイザー教員または指導教員の方にも連絡させていただきますが、学生はあくまでも学習・研究が本分であり、それに支障がない範囲での協力依頼となります。以下、研究部門およびプロジェクトにつきまして、簡単に説明をさせていただきます(詳細は、当センターHPをご覧ください)。

当センターは、金沢大学大学教育開発・支援センター規程(平成16年4月1日・規程第82号)第2条により、「学内共同教育研究施設として、金沢大学における教育方法、教育システム、評価システム及び学生支援体制の研究開発を行うことにより、本学が行う教育の充実・発展を図るとともに、本学が掲げる基本理念及び目標の実現に資する」ことを目的としています。研究部門については同第3条で「センターに、次に掲げる研究部門を置く。大学教育研究開発部門 評価システム研究部門 教育支援システム研究部門」と定めています。

3部門のそれぞれの業務についての詳細は、本年7月1日から発効した「金沢大学大学教育開発・支援センター研究部門規程」により、次のようになっています。すなわち、その第2条で、「研究部門は、規程第2条に掲げる目的を達成するため、それぞれ次に掲げる業務を行う」として、例えば大学教育研究開発部門について

- 「(1) 学長の諮問に基づく大学教育の基本方針に係る答申の作成に関すること。
- (2) 学長の指示に基づく大学教育全般にわたる教育カリキュラム及び教育システムの研究開発並びにこれらに基づく報告、提言又は勧告に関すること。
- (3) 学部長、研究科長又は共通教育機構長からの委嘱に基づく教育カリキュラム及び教育システムの研究開発並びにこれらに基づく助言、提言又は勧告に関すること。
- (4) 総合科目を中心とした教養的科目の企画、立案及び授業担当者の割当を業務とする教員団の編成及び運営に関すること。
- (5) 高大連携及び入学者選抜の調査研究に関すること。
- (6) 学士課程再編等に伴う学習プログラム及び科目設計に係る基礎研究に関すること。
- (7) 専門職大学院における教育カリキュラム等の調査研究に関すること。
- (8) 大学教育の意義の徹底及び広報に関すること。」

とし、各部門の業務に併せて、各部門の構成についても規程した上で、「各研究部門に

においては、当該研究部門の業務遂行に必要なプロジェクト等を編成することができる」としています。

プロジェクトにつきましては、同じく本年7月1日から発効した「金沢大学大学教育開発・支援センターの研究部門プロジェクト等編成規程」において、第2条「各研究部門に、部門規程第2条に掲げる業務遂行のため、それぞれ次に掲げる基幹となるプロジェクトを編成する。

大学教育研究開発部門

- (1) 総合科目企画プロジェクト
- (2) 学士課程教育再編プロジェクト

評価システム研究部門

- (1) 評価推進プロジェクト

教育支援システム研究部門

- (1) 教育改善支援プロジェクト
- (2) 学生支援プロジェクト
- (3) 教育成果公開プロジェクト」

と、六つのプロジェクトが編成されることを、規程しています。

その構成について、例えば、「総合科目企画プロジェクト」については

「(1) センター長

(2) センター教員 1人

(3) 各学部から選出された教員 各1人

(4) 医学系研究科及び自然科学研究科から選出された教員 1人

(5) 外国語教育研究センターから選出された教員 1人

(6) 留学生センターから選出された教員 1人

(7) 学生部教務課長及び共通教育課長

(8) 各学部（医学部にあつては、医学科及び保健学科から各1人）からセンター長が委嘱する学生 9人」

と規程しています。

なお、やはり本年7月1日に発効しました「金沢大学大学教育開発・支援センター客員研究員取扱規程」に従い、本年10月1日付けで、学外の4名の研究者に、客員研究員（「非常勤とし、給与は支給しない」）を委嘱します。このうち、清水一彦氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授、同副研究科長、同大学学長補佐）には、客員教授をお引き受けいただきましたことは、今月の教育企画会議に報告したとおりです。

当センターには、私を含め現在4名専任教員がおります。定員5名のうち、残る1名の評価システム研究部門助教授は来年3月1日付けで着任予定です。センターとしましては、今後とも、学内共同教育研究施設としての所定の目的遂行のため努力しますので、各プロジェクトメンバーをお引き受けいただく方々のみならず、広く教職員の方々のご協力のほどよろしくお願いします。（センター長 青野 透）

センター教員活動記録

2005.9.3 大学評価学会第2回秋季研究集会に参加（会場：東邦学園大学、西山 公費出張）

2005.09.03-04 第43回大学教員セミナー（主催：財団法人大学セミナーハウス）

参加（堀井 公費出張）

2005.09.05-06 高大接続のための大学入試シンポジウム（主催：筑波大学アドミッションセンター）

参加（堀井 公費出張）